

# OSAKAスマホアンケート2022【保護者向け】集計結果

時期：令和4年5月～8月

対象：大阪府内の小学校、中学校及び高等学校（支援学校の小学部、中学部及び高等部を含む。）に通学している児童・生徒の保護者

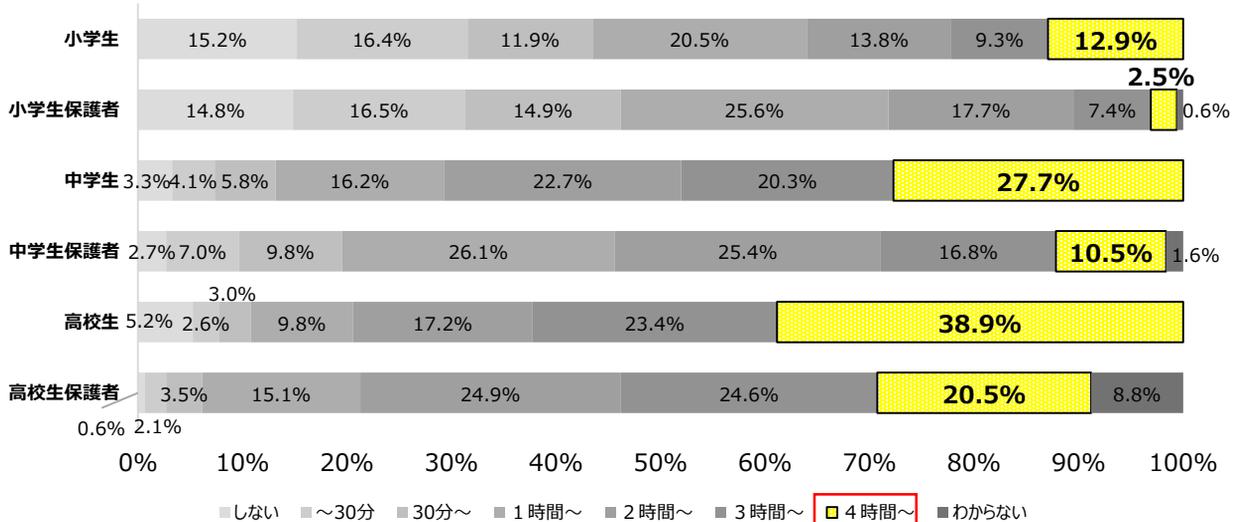
目的：「大阪の子どもを守るネット対策事業」の一環として、大阪府内の子ども達の実態を知り、課題と対策について考える際の基礎資料とするため

方法：大阪の子どもを守るネット対策事業実行委員会の教育機関を通じて、府内学校にアンケート調査の協力を依頼（Googleフォームで実施）

回答数：7,147人

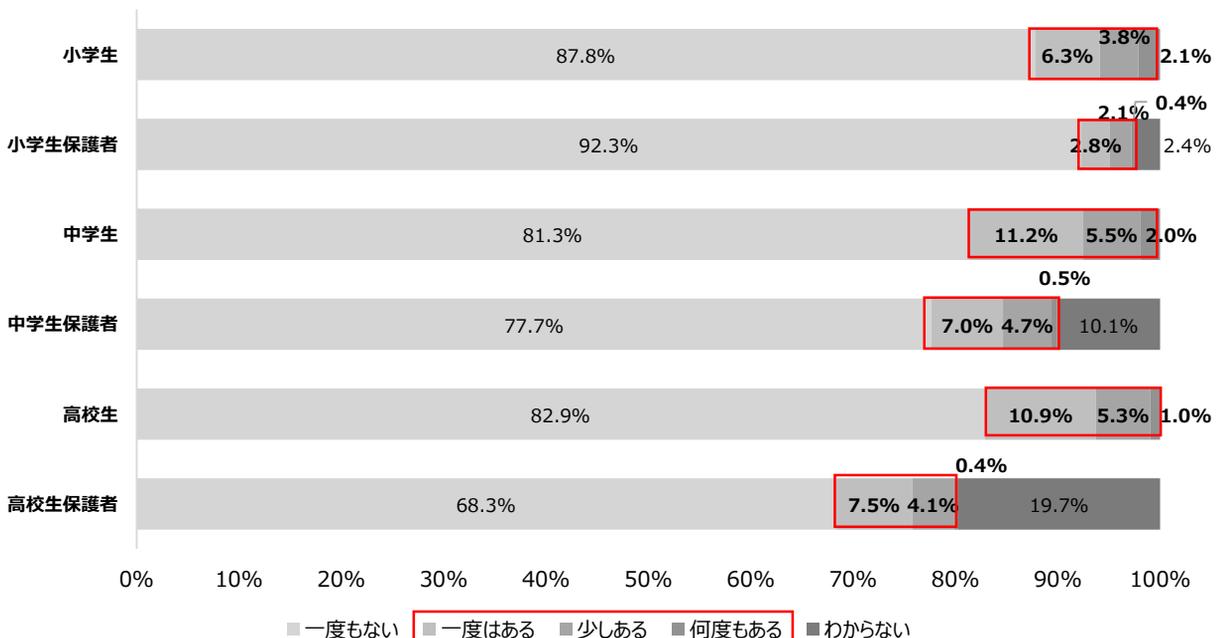
## 児童生徒調査と保護者調査の比較（保護者については、子どものネット利用について確認）

### ●平日のインターネット接続時間（SNSや動画、ゲーム等をする時間（読書や勉強は除く）） \*小学生は1～6年生



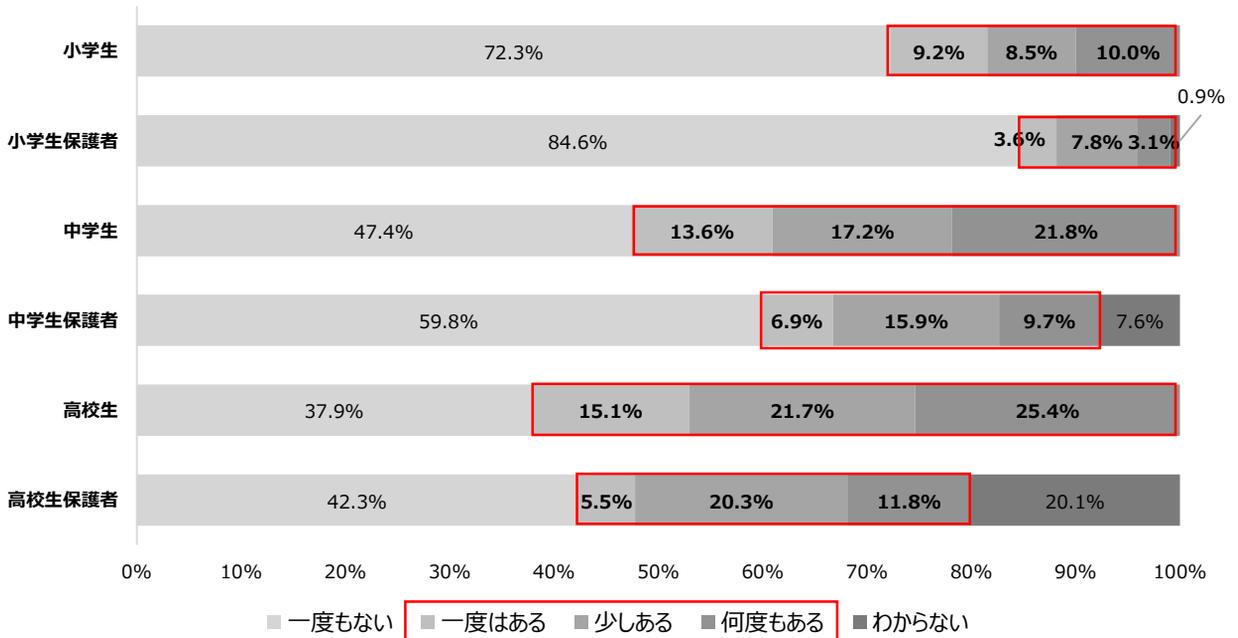
⇒児童生徒のインターネットの利用時間について、特に4時間以上では児童生徒と保護者に乖離がある。

### ●インターネット上、またはインターネットがきっかけで、ケンカやトラブルにあったことがある \*小学生は4～6年生



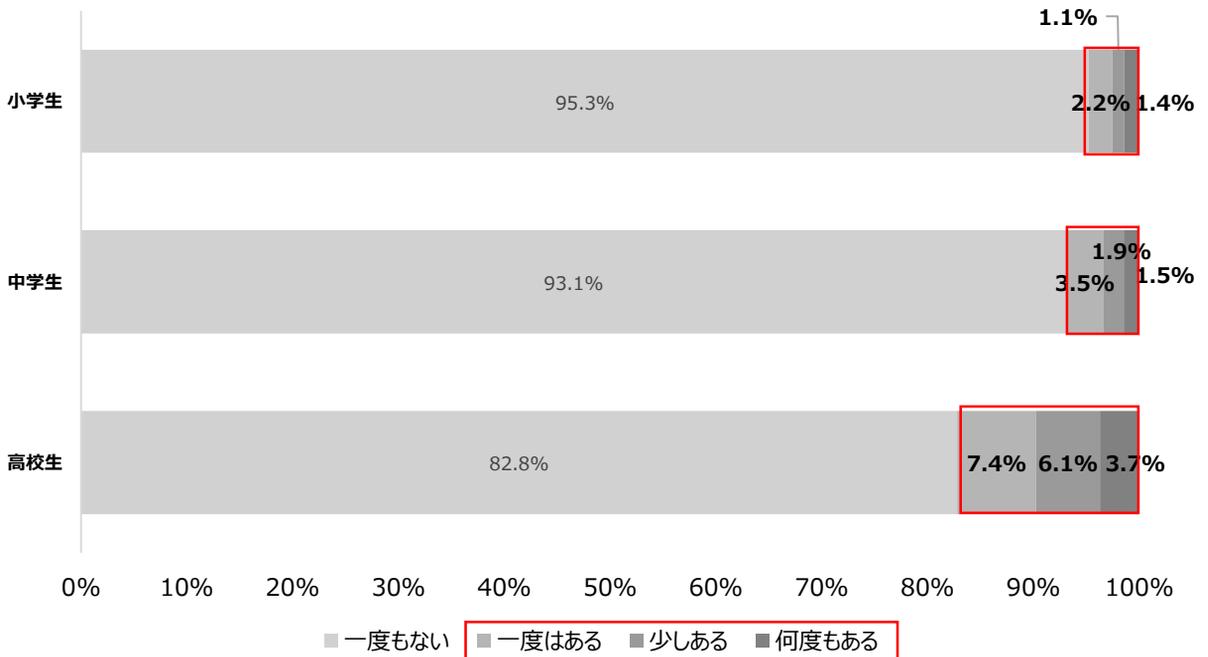
⇒インターネット上やインターネットがきっかけでトラブルになった割合は児童生徒と保護者で乖離している。（「一度はある」「少しある」「何度もある」の合計は小学生12.2%、中学生18.7%、高校生17.2%）

●会ったことがない人とインターネット上でやりとりをしたことがある。 \*小学生は4~6年生



⇒会ったことがない人とインターネット上でやりとりをしたことがある割合は児童生徒と保護者では乖離している。  
 (「一度はある」「少しある」「何度もある」の合計は小学生27.7%、中学生52.6%、高校生62.2%)

(参考) インターネット上で知り合った人と実際に会ったことがある。 \*小学生は4~6年生

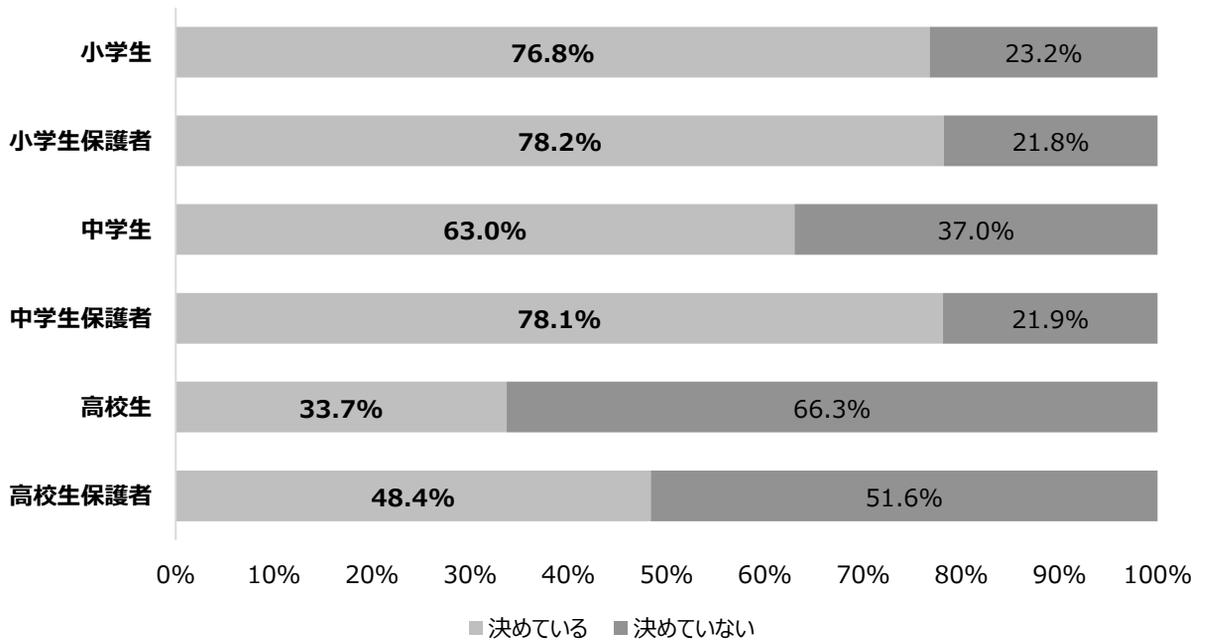


⇒インターネットで知り合った人と実際に会ったことがある割合は、小学生で4.7%、中学生6.9%、高校生17.2%である。

なお、インターネット上で知り合った人と直接会うことについて、「問題はない」は、小学生で8.1%、中学生で4.4%、高校生で5.2%、「相手によってはよい」は、小学生で6.1%、中学生で17.0%、高校生で33.3% (p.31-⑯)。

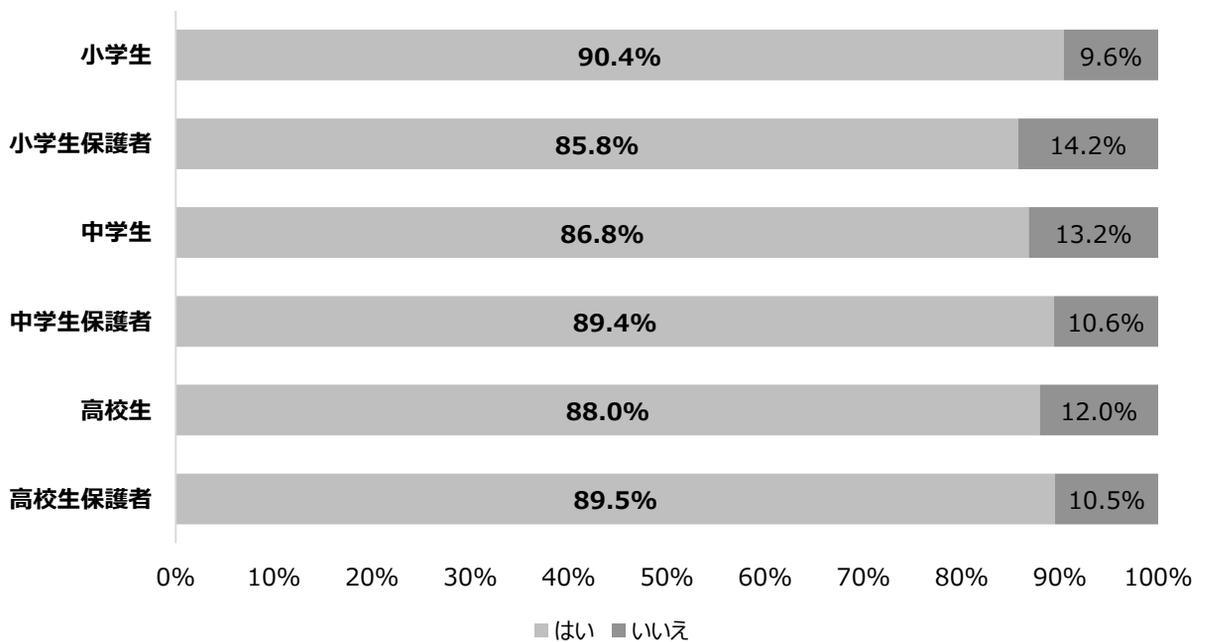
インターネットの危険性について、どんな人から話を聞くかについては、小学生は「保護者」が最も多く、次いで「先生」、「警察」の順になっている。中高生については、「先生」が最も多く、次いで「保護者」、「警察」の順となっている(p.32-⑰)。

●保護者とスマートフォンやタブレットなどの使い方のルールを決めている \*小学生は4~6年生



⇒小学生について、約8割の児童及び保護者はルールを決めていると回答している。  
また、中学生で約6割、高校生で約3割が保護者とルールを決めていると回答している。

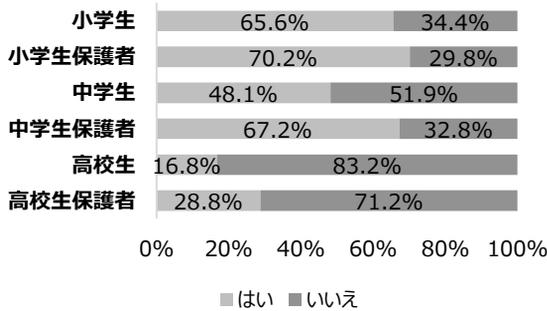
●保護者と話し合ってルールを決めている \*小学生は4~6年生



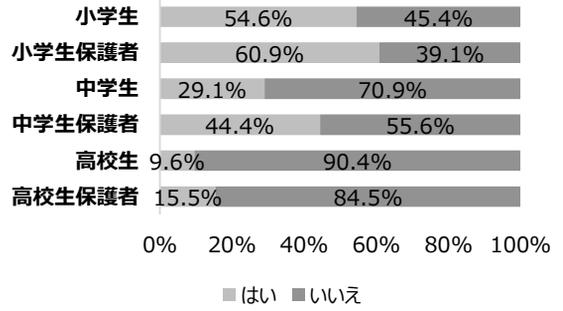
⇒ルールを決めている家庭のうち、約9割は児童・生徒と保護者が話し合って決めている。

●家庭でのルールについて

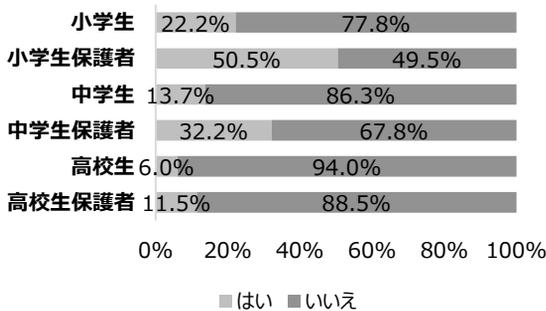
a 「夜何時までならインターネットをしてよいか」を決めている



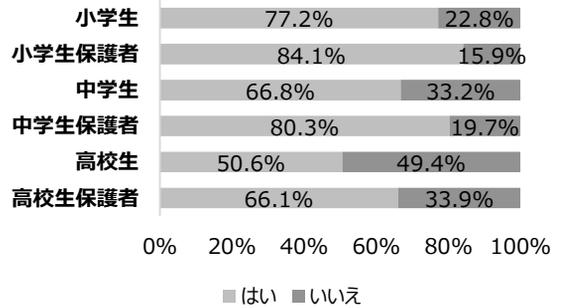
b 「一日何時間までならインターネットをしてよいか」を決めている



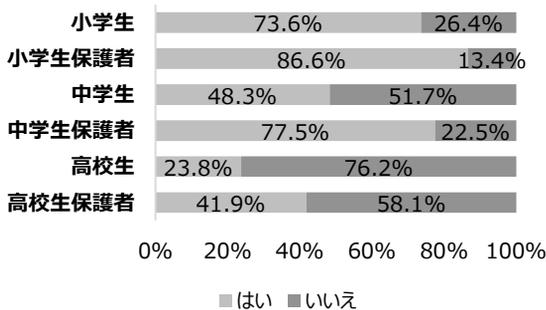
c 「居間（リビング）でしかインターネットをしない」と決めている



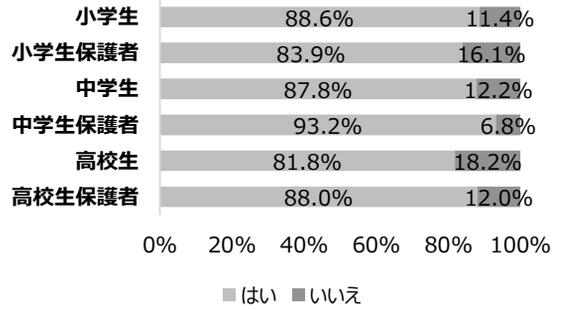
d 「食事中はインターネットをしない」と決めている



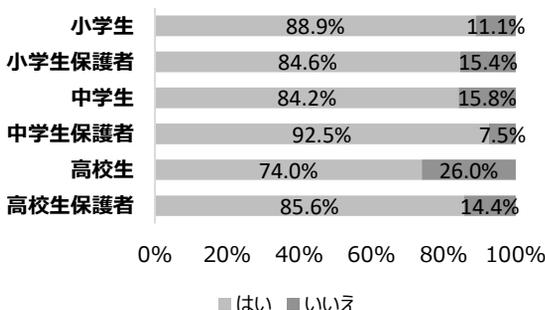
e 「寝るときはインターネットをしない」と決めている



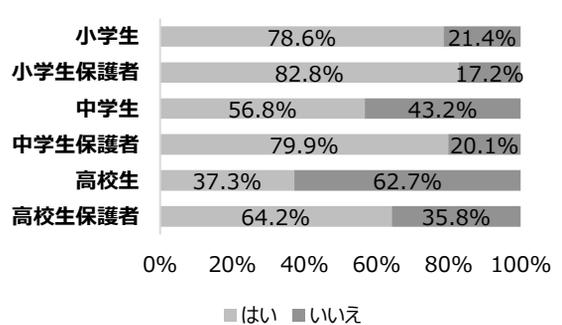
f 「人が嫌がることをSNS等に投稿しない」と決めている



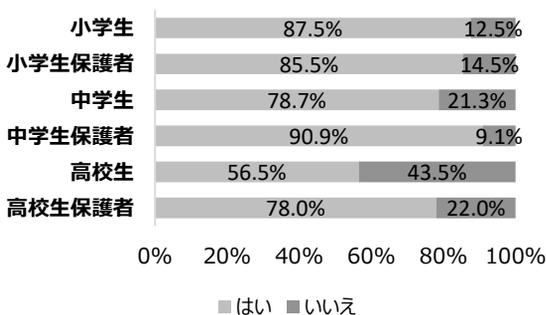
g 「個人情報をSNS等に投稿しない」と決めている



h 「知らない人とインターネットでやり取りをしない」と決めている



i 「インターネットで知り合った人と会わない」と決めている



j 「課金に関するルール」を決めている

